
ファンタジア・ストーリー～シアルの森の物語～

ニニナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ファンタジア・ストーリー～シアルの森の物語～

【Nコード】

N5905X

【作者名】

ニニナ

【あらすじ】

シアルの森に住む主人公とその周りの人々の物語

プロローグ

ボクはネコのロイ

ボクが暮らしているこの世界は動物しかいない

皆二足歩行で、言葉も話す

『太陽系』ってところでは人間しか話せないらしい

まあ『太陽系』がどんなところか知らないんだけどね

話を戻そう

ボクの住んでいる森はシアルの森

周りは荒野

一番近い森までハヤブサさんですら半日かかるぐらい遠い

ボクは4人家族

父さんと母さんとボクと小さい妹、ユーリ

あとは向かいに住んでいるネコのリルとサン、パン屋のソラさん、

仕立て屋のミーシャさん、学校の先生のリディア先生などたくさん

の人が暮らしている

ボクはこの森が大好きだ

これはボクと周りのみんなの平和な毎日を描いた物語

1話 学校

「ロイー！」

後ろから明るい声が聞こえてくる
振り返ると思ったとおり、リルがいた

「おはよ、リル」

「おはよー！一緒に学校行こう！」
「いいよ」

いつもの朝のやりとり

「リルは宿題やった？」

「もちろん！ロイとは違うんだから！」

自信満々に答えるリル

「それじゃボクがやってないみたいじゃないか」
「え？やってるの？」

リルの心底驚いたような言葉にため息をつく

「ボクが宿題やらなかったことなんてあった？」

「えっと・・・」

「宿題忘れるのはリルでしょ」

リルはぷーっとふくれて言った

「ちえっ、つまんなあい」

「何がつまないんだか、そういえばサンは？」

「今日は具合が悪いから休むって、ホント病弱だよね」
そう言ってリルはくるっとまわった

リルの双子の兄、サンは体が弱い

だから一緒に遊べるのは月に3回くらい

それでもボクらは親友と呼べるほど仲が良かった

「あ！リサちゃん！」

リルが走り出す

「おはよ、リルちゃん」

「おっはよー！」

この子はリサことリイサ
リスの女の子だ

「ロイくん、おはよう」

「あ、おはよ」

誰にでも優しくて信頼も厚い

「ういーっす！」

急に後ろからどつかれる

「わっ」

「よっ、おはよ」

話しかけてきたのはジーク
オオカミの男の子

「おはよ、ジーク」

「なんだよ、朝っぱらからシケたツラしてんな」

「ジーク、オッサンみたい」

ついうっかりもれた言葉にジークが反応する

「あゝあゝ？」

「ああ！ううん、何でもないよ」

ジークは喧嘩っ早いから注意しないとすぐ巻き込まれる

「先生、きたよ」

小さいけどよく通る声で教えてくれたのはエル

ウサギの女の子

「まじで？」

周りを見ると皆が慌てて座り始めてる

ボクらも自分の席に着いた

この学校に教室なんて無い

あるのはイスと机と黒板だけ

原っぱの床に青空の天井、開放感があっというま

そんなんだから雨が降ると授業が出来ない、だから雨が降ると図書

館でやる

「それでは授業を始めます」

リディア先生が言う

「今日は、森に生えている植物について勉強しましょう」

そして木の根元に生えていた草をプツツとむしる

「この草はドククロクサといい、名前のおり毒があります。この草は腹痛に効くハククロクサと間違われやすいので気をつけてくださいね」

そう言って草を地面に置き、言った

「今日は森を散策して勉強しましょうか」

皆がワツと歓声を上げる

確かにずっと座って勉強するよりマシだ

「皆さん、ついて来てください」

そう言って先生は歩き出した

皆もぞろぞろとついて行く

ボクも遅れをとらないように歩き出した

1話 学校（後書き）

ぞろぞろとか書いてますが生徒は15名ほどですW
小さい森なものでW

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5905x/>

ファンタジア・ストーリー～シアルの森の物語～

2011年11月16日19時51分発行